

議 長	会議を再開します。 (午後1時10分)
々	それでは、高良議員の一般質問を行います。3番高良議員。
3番 高良議員	<p>高良でございます。通告書に従いまして、ただ今より一般質問を行います。質問の要旨ですが、「JR跡地及び資産の活用について問う」でございます。</p> <p>昨年3月末に三江線が廃止され、はや1年が経とうとしている。昨年6月の定例会においてJR跡地の利用計画を質問し、答弁を得てるが、その後の進捗状況を問う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 旧JR川本駅周辺のまちづくりの計画はできたのか。出来ていなければいつまでに計画を作るのか。 2. 最終的に、JR資産は何が残り、何が撤去されるのか。町民に知らせる必要があるのではないか。また、残した資産の価値についても知らせるべきだと考えるが、町の考えを問う。 3. 2月に駅構内の^{こせんきょう}跨線橋(=鉄道線路の上にまたがって設けた橋)がJRにより撤去されたが、利用された方の中には、知らずに写真も撮れなかったという意見もあった。今後JR資産の取り壊し時には町民に知らせることは出来ないのかを問う。 <p>続きまして、定住促進住宅の建設について問う。</p> <p>31年度予算において、3棟の定住促進住宅の建設が計画されているが、どこへ建てる予定なのかを問う。</p> <p>続きまして、三島の歩道の安全対策工事について問う、でございます。</p> <p>川本大橋の三島側の歩道の安全対策工事が半年近く止まったままとなっている。地域の方も不便を感じておられるし、徒歩で小学校に通学している児童が、自転車で中学校に通学している生徒とすれ違う状況である。工事完了の見通しを問う。以上でございます。</p>
議 長	<p>それでは、高良議員の質問のうち、1項目めの「JR跡地及び資産の活用について問う」に対する、答弁をお願いします。</p> <p>番外杉本まちづくり推進課長。</p>
番外杉本ま ちづくり推 進課長	<p>それでは、高良議員の「JR跡地及び資産の活用について問う」にお答えします。</p> <p>まず、1項目めの旧JR川本駅周辺のまちづくり計画の進捗についてお答えを致します。今年度実施した、住民を主体とした弓市地区魅力化検討ワークショップでは、旧JR川本駅に係る「賑わいのまちづくり」の観点において、地域の次世代を担う若い年齢層の方々から活発な意見が出されておりますが、議員ご指摘の駅前のいわゆるターミナル構想につきましては、策定に至っていない状況でございます。弓市魅力化構想につきましては、来年度の</p>

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

次期総合戦略の地区別の計画策定に引き継ぎ、しっかりとした戦略を構築することとし、住民から出されている意見を全て反映するにはハード整備等に膨大な予算が必要となりますので、弓市地区の魅力に繋がる取り組みを視野に入れ、駅前、駅周辺のまちづくりも含め、関係機関との協議の中で行政が優先して行う事業を整理し、来年度の予算編成時期には一定の方向性を示したいと考えております。

次に、2項目「最終的にJR資産は何が残り、何が撤去されるのか」についてお答えします。

本町がJRから取得しました資産は、川本駅周辺では、上新町の川本踏切から、天神町踏切までの間、約1.2kmの範囲と、因原駅周辺では、中因原踏切から天王寺川までの間、約300mの範囲にあります鉄道資産を取得しました。これらは地域振興等に活用するために取得し、必要がない資産については、JRが撤去をするものもあります。取得した主なものは、先ほど申しました石見川本駅周辺及び因原駅周辺のJRの敷地、建物は主なものでは、石見川本駅舎、待合室、因原駅の駅舎、元保線区の現場事務所などでございます。

ご質問にあります、何が残り、何を撤去するかでございますが、現段階では、具体的にどれを残し、どれを撤去するかを詳細に決めておりませんが、元保線区の現場事務所につきましては、建物が古く活用予定もありませんので、本年度に解体の予算を計上しており、予算を繰越して、撤去することとしております。なお、この費用につきましては、JRから譲渡時に受けとった経費で行うものでございます。

石見川本、因原の駅舎については、現段階での解体の予定はありません。

また、残した資産の価値について知らせるべきではないかというご質問でございますが、どれくらいの資産があるのか、具体的にお知らせすることは現段階では考えておりません。

次に、3項目めの「今後、JR資産の取り壊し時には町民の皆様にはお知らせすることはできないのか」のご質問にお答えします。

ご質問にありました、石見川本駅構内の跨線橋につきましては、この度、JRが撤去を致しました。鉄道ファンの皆様にとりましては、残念に思われ、撤去についてお知らせが欲しかったということではないかと思いますが、この跨線橋につきましては、町として譲渡を受けなかった物であり、JRの判断で撤去をされたところでございます。

これらの資産の撤去について、町民の皆様にお知らせするかどうかであります。町やJRが取り壊しを計画している施設・設備について、その取り壊し工事に伴い、騒音や道路の通行止めなど町民の皆様にご迷惑をおかけするような場合には、お知らせをしようと考えておりますが、それ以外については、今のところお知らせすることは考えておりません。

議 長

ただ今の答弁に対しまして質問はありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

単年度構想は未だ出来ていないという事で、来年の予算に載せるような流れで関係機関と協議しているという答弁でございましたが、この駅前の活性化をするという事は、どうしても川本町を賑わいという言葉も先ほど出ましたけども、そういう賑わうとか、その勢いがあるとか、そういうふうを持って行くためには、この駅前がやはりどうしても華やかにならないと、なかなか難しい面があるのではないかと思います。現在もそのバスの発注が川本駅を中心として為されていて、ここが玄関口という現状でございますので、この駅前の魅力化、活性化というのは、絶対避けて通れない事であろうと私は思っております。そういう考えの中で、先ほどありました来年度という話でございましたけども、やはり今、この川本の状況を考えると、一年一年だんだんその寂しくなっていく現状というのは皆さんももう感じられていると思います。その計画を作る方は、もうあと一年待とうとか、そういうタイムスケジュールのところで結構ゆったり構えておられるのかも知れませんが、実際の町民の生活というのはなかなかそういう余裕が無いというか、もう一年というのは非常に長く感じるというか、まだかまだかというような実感ではないかと私は思うわけですね。その中で先ほど話しにありました弓市地区の魅力化計画です、今まで3回やられてこれからどう形にされるのかは知りませんが、町長の施政方針の中で安全安心のまちづくり、賑わいのあるまちづくり、若者が活躍できるまちづくり、高齢者に優しいまちづくりというのが??あった訳ですが、これを全部というのは確かに総花的でなかなかこれ出来るだけの予算の措置もなかなか我が町はもう既に出来ないような状況になってるとは思います。その中でその駅前の活性化という事で、その賑わいの町づくりに対して、これを進める必要があるのではないかなと私は思う訳ですが、これを来年の予算に載せられるのに、どの規模の予算を来年に載せて、どれだけの事業をしていこうという計画なのかをちょっとお聞かせ下さい。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

予算規模につきましては、これからの検討になってくるというふうに思っています。実際に何が必要であるのかというところの議論を進めておるところで現段階ではあります。これまで様々な弓市地区に関しましては、活性化の計画というものが出来ておるところであります。割と行政あたりが主体になって作ってきたもの。それとキタンという団体が作ったものというものが多かったというふうに思っております。こういった計画がたくさんあったにも関わらず、今現段階のような状況が発生しておるところであります。今回の弓市地区の魅力化の検討につきましては、たくさんの住民の方の意見をお聞きしておるところであります。この住民意見をですねボトムアップして、例えば先ほどの駅前周辺でございますが、いったいここに何があれば活用される方に適切なのかというところも判断した上で、最

番外杉本まちづくり推進課長 議 長 最終的には必要なものをおとした絵を描いて、それをもとに予算化をしていきたいというふうに考えております。

再質問ありますか。はい、3番高良議員。

3番高良議員 昨年の12月の第4回定例会で、まちづくりの話を少し伺った訳ですが、その中で商店街の活性化というか、事業継承というか、繋がっていただかないと生活している我々も困るといような話でした事もありまして、ちょっと商工会さんの方に一体どういう状況かというのを聞きにいった訳ですが、昨年、商工会さんの方が中心市街地活性化構想調査研究事業というのをやりたいから、調査費を出してもらえないかという話を町の方へしたという事だったのですが、役場の方では自分たちも同じような事業を実施中であるからという事情で、これは出していただけなかったといような話も聞いた訳ですが、これに対して町の方ではどういう事をされたのか、それを何がダブっていたのか、それをお聞かせ下さい。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 商工会さんの方から提出された、いわゆる弓市地区をゾーンで分けたようなものがあつたと・・・
（「ちょっと、すみません、議長。」高良議員の声）

議 長 はい、3番高良議員。

3番高良議員 あれではありませんで、駅舎活用商店街整備等の計画調査費という事で、あれはゾーンで分けられたのは私が見ますと単なる絵でしたが、そういう駅舎活用とかを具体的に進めていくような事を調べたいので、費用のちょっと手伝いをしてもらえないかという話だったと聞いておりますが。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 例年、商工会から要望をいただいているものであるというふうに考えます。ただそれを商工会でやられるというところで、予算をどうにかということであろうかと思いますが、同じような事を弓市魅力化ワークショップでやるというところがございます。この中には事業承継の問題もあるというふうに把握しております。ここでは過疎ソフトでございますが、一応、今年度300万でございますが、一応参加をしておりますので、必要に応じてその経費を使っていこうというふうに考えております。

議 長 はい、3番高良議員。

3番
高良議員 という事は、その弓市魅力化ワークショップと、その事業がダブるのでそちらの方でやるという解釈をされたと理解してよろしいのでしょうか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長 先般、ワークショップでの取り組みの状況を報告をさせていただきました。その中でも割とですね、ちょっと残念ながら商工会の若手の方がなかなかご参加いただけなかったというところがあります。これは弓市検討委員会の中では商工会の方が居られて、そういった面々も加えるというふうに明言されております。是非ですね、そういったワークショップに商工会の方からご参画をいただいて、一緒になって考えていきたいというふうに考えております。

議 長 3番高良議員。

3番
高良議員 分かりましたが、分かった訳ですが、その弓市魅力化ワークショップが今、3回開かれて、その開かれただけで、ある程度、取り纏めはされているんでしょうけども、これが実際に動くような計画まではなっていないというのが、今現状だろうと思います。それで、これをそんな悠長に、この川本の冷え込んでいる状況の進み方と言いますか、それを見ている限りではやはりそんなに悠長に待っているような、先ほども言いましたけれども、ものではないように感じる訳です。そうするといつまでに、どこまでやって、どういう事を示すというような経過々の各々の期限というものを示せるかどうかというものは如何でしょう。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長 出来る限りそういう事をしたいというふうには考えております。具体的にどういった町づくりが弓市地区において魅力化に繋がるかという事は、テーマごとに取り纏めを、今、現段階でもたくさんものが出てきておりますし、それを今度テーマに沿った分野での協議もしていかなければならないと思います。ただ一度にですね全ての事が出来るというものではないと思いますので、これは工程も含めてここには予算編成時期というものを書いておりますが、お答えいたしました、予算の掛かるものについては、予算時期までには回答すべきであろうというふうに考えておりますし、次年度以降ですね継続して考えていかないといけないものにつきましても、この工程についてまたお話をしたいというふうに思っております。

議 長 はい、3番高良議員。

3番 だいたいわかりました。流れは分かった訳ですが、決してゆっくる出来な

高良議員 | い事であるというのは重ねて申しておきます。それで町長の施政方針にありました先ほど言いました安心・安全、賑わい、子ども、若者、高齢者、この4項目のうちで、一番最初にどれをやろうとされるのか。先ほど課長の話にもありましたように、全部やるのは多分、私も難しい話だと思うんですが、先ずどれから掛かっていかれるのかを聞かせて下さい。

議 長 | 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 | この取り組みにおいて、最大のミソであるというのは、住民が主体となって実施するというところがミソだろうというふうに考えております。今現段階でも多少やろうかという住民が芽生えはじめているところが現状であります。そういった観点から見ますとこの中で言うと、高齢者に優しいまちづくりという、所謂この中で非常に要望が多く住民から出されているのは集いの場がないという事を言われているというところがあります。ここについてはそれを支えうるような住民団体が何となく芽生えるというところがありますので、出来るところから早くやるというところは、先ず1点あると思います。それともう1つは、やはり賑わいというものはここには無いといけない弓市は本町にとっても中心である地区でございます。弓市地区の衰退はですね、全町的な衰退につながるというふうに考えておりますので、やはり賑わいのある町づくりという観点と、所謂、高齢者のやさしいまちづくりというものが早急に急がれる部分であるというふうに考えております。

議 長 | 再質問ありますか。3番高良議員。

3番高良議員 | 高齢者にやさしいまちづくりという答弁でございましたので、ちょっと重ねてお聞きしますが、これも町長施政方針にあったと思うんですが、バスを利用する高齢者がワンストップで官民のサービスを受けられる仕組みというのが謳ってあったわけですが、これは具体的にはこういう事をするからワンストップでこうなるんですよという説明をちょっとしてもらって良いですか。

議 長 | 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 | 弓市地区はですね、コンパクトシティだというふうに思っております。コンパクトシティというのは、所謂、行政もあり金融機関もあり買い物ができる。高齢者であっても歩きながら全て医療機関もございまして、会社もございまして。そういった歩いて全てが賄えるというところがコンパクトシティと言われてはいますが、ただこれをですね先ほど何かにありましたけど、2025年には3人に1人が後期高齢者の人口になるという事があります。そういった方々が役場に行って、病院に行って、買い物をしてという非常に歩く距

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

離の長いものですね、歩いて行く事が、それが町として優しいかという事があります。1つの拠点としては、やはりこれは駅というものが拠点になってくるんだろうなど。バスでいろんなところから来られると。その駅前のターミナル構想という部分にも入って来ようかと思うんですけども、なるべくですね例えばこれはちょっと個人的なものも入りますので、町としての見解ではないという事でお聞きいただきたいですが、例えばそこへATMがあればですね、金融機関に支障が無いかも知れません。そこで買い物ができる施設があれば、町内、新しいマーケットを作るというわけにはいかないかも知れませんが、そこで済むかも知れません。例えば役場と繋がるものがある、そこで窓口の対応が出来て、そこに住民票なり持っていける仕組みが出来れば、それはワンストップで物事が収まるかも知れません。なるべくですね先々の事を考えた上では、そういったコンパクトシティであっても、なるべく高齢者がいろいろ歩いて物事を済ますという環境でない仕組み作りも必要であろうというふうに考えておるものでございます。

議 長

はい、再質問ありますか。はい、3番高良議員。

3番
高良議員

個人的な課長さんの意見という事でしたが、今、見てたいへん私は賛成で、そういう事をしていかなきゃなくなるんだろうと思います。その先ほど答弁中の質問にもあったような気がします、今からAIとか、その手のI O Gもですが、その手の環境というのはやっぱりここも川本も整えていかないと、なかなか便利な生活というところに行く為には高齢者が動かないで物が済むというところに行く為には、どうしてもそれは使わなければならない技術であろうと思います。その来年度から作られる総合計画ですが、そういう高齢者がこういうワンストップ、先ほどの言葉ではワンストップなんです、そういう不便と言いますか、暮らしやすいと言いますか、不便を??ならいで暮らしやすいような制度という仕組みとか、その考え方というのも総合計画に載っていく訳でしょうか。

議 長

番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

総合戦略でございますが、どこまで具体的に欠けるかというところはあると思います。あくまで戦略は5年間の取りあえず第2期というのが多分5年間という事になるかと思いますが、その5年間の32年度以降の計画をたてるというところではありますが、ただ様々住民の方から出された意見をですね、一度、絵に描いてみたいというふうに思っています。それを総合戦略の基にするとかっていう意味ではなくて、そういった思想を絵に描いて目に見えるものにするというのは必要な事であろうというふうに思います。

議 長

はい、質問ありますか。はい、3番高良議員。

3番
高良議員 次の総合戦略は地区別に作っていくという事なんです、その地区割りともうひとつやっぱり世代割りというのが、やはりその両面から見ていかないと、その地区一本で良いともなかなかカバー仕切れないというか、そういうところも出てくるような気がしますので、私、個人的で総合戦略に載せて下さいとかどうとかいう訳ではありませんが、ただ検討する時はそのこういう地区と世代というような、なかなか一緒に出来ないような事があると思うので、その辺の事も合わせて考えながら計画は進めていって欲しいなと思いますが、何にしましても何をどうするかというのは、いつまでにここまでやるという目標を示しながらやっていたかないと、我々の方としてもチェックする方もなかなかどうなっているのだろうかと思うんだけど、その期限が明示されていないとなかなかチェック仕切れないという事がありますので、相談にもものれないだろうし、良い相談にのれるかどうかは別として、そういう事も思いますので、いつまでに何をやるというのは明確な目標設定をして進めて欲しいと思います。その辺のところは、多分できるとは思うんですが如何でしょうか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 次期総合戦略につきましては、32年度から実施するという事が決まっておりますので、来年度中には作り上げなければ逆にならないというふうに判断しております。時期の総合戦略につきましては、国の方が6月に方針を出されて9月までには県の方も策定の方針を出されるという事もあります。それを待っていけばいけないというところもありますし、出来ることから進めていって来年度中には作り上げたいというふうに考えております。

議 長 再質問ありますか。
(「いえ、結構です。分かりました。」の声あり)
この項目はどうされますか。
(「この項目は、これで終わります。」の声あり)
はい。

々 以上で、「JR跡地及び資産の活用について問う」の質問を終わります。

々 次に、2項目めの「定住促進住宅の建設について問う」に対する、答弁をお願いします。番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 それでは、高良議員の質問のうち、「定住促進住宅の建設について問う」についてお答え致します。総合戦略の核となる、移住・定住対策につきましては、かわもと暮らし情報センターを中心に、関係機関と連携し推進しておりますが、定住促進住宅整備事業につきましては、移住施策の中の中心に据

番外杉本まちづくり推進課長 えて重点的に取り組んでおり、移住者の合計は4年間で19世帯68名であります。来年度の定住促進住宅の整備につきましては、引き続き3棟の建築を予定しておりますが、現段階で整備する場所は未定であり、本定例会において、事業予算が確定した後は、建設予定地を検討し、次期議会において諮りたいと考えております。定住促進住宅には、例年20件程度の入居希望をいただいておりますが、移住を受け入れる選考の基準と致しまして、移住後に就業先があることが肝要であると判断しております。しかしながら、昨今の応募される方の状況を判断すると、これまでと同様の公募型、いわゆる建築を先行し広く入居者を募る手法には限界があると認識しているところでございます。翌々年度以降の本事業につきましては、継続したいと考えておりますが、移住の選考基準を満たした方の希望により住宅を整備する希望型とし、特に本町に進出した企業の町外から通われる従業員の方を対象に、道路整備による残土跡地を活用した希望型住宅を整備し、移住・定住の対策に併せて企業支援に繋げ推進したいと考えております。

また、移住希望者には空き家を望まれる声が多々ありますので、各自治会の集落対策として、地域と連携した空き家改修によるUターン者を含めた移住・定住対策の検討を来年度には進めていきたいと考えております。

議 長 ただいまの答弁に対して質問がありますか。3番高良議員。

3番高良議員 定住促進住宅は建設地は未定と書いてあった訳ですが、今の答弁を聞くと今、付けている道路の残土処理の跡地に建てるという計画でしょうか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 今回の残土場を活用するというのは翌々年度、34年、はい。でございます。

議 長 3番高良議員。

3番高良議員 という事は来年度の3棟というのは建設費は未定という事だと理解しましたが、ちょっと思うんですが予算の付け方として、建てる土地もないのに一応建物の予算だけ確保しておくというような手法は公のお金を使う町としては正しいやり方かなと私は少し疑問に思うんですが、その辺は普通に行われる順当な手法なんでしょうか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本まちづくり推進課長 ご指摘ももっともだというふうに考えておりますが、一応まちづくり推進課の方では候補地というものを持っております。そういった候補地のうち、ど

進課長	ここに決めるという事で予算には図ったというところであります。この事業は非常に社会増に貢献出来ている事業という判断もありますので、先ずはこの事業を継続するという判断のもと、候補地の何れかに??するという予定であります。
議 長	3番高良議員。
3番 高良議員	候補地という言葉が出ましたが、どこが候補地なんでしょうか。
議 長	番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本ま ちづくり推 進課長	何か所かはございますが、あまりこの段階ではちょっとそこは差し控えさせていただきます。あまりそこで先行してしまうといろいろな期待をされるという部分があってもならないという事がありますので、ちょっとそこは控えさせていただきます。
議 長	3番高良議員。
3番 高良議員	という事は、それは現在、町の方で持っておられる町有地ではないと理解してよろしいのでしょうか。
議 長	番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本ま ち推進課長	今、現在は町有地という事で検討しております。
議 長	再質問ありますか。3番高良議員。
3番 高良議員	それでは、ちょっと視点を換えますけども、その先程来、出ているコンパクトシティ構想というのを私、いつでしたかね、ちょっと一回、一般質問してその時の当時の副町長の答弁は、そうだと。コンパクトシティを目指していくんだという事で、あまり中心地から離れた所にはインフラを延ばさない、或いはこういう住宅建設をしないというような答弁があった訳ですが、今、名前は言われなといわれた候補地については、この町の構想と合致した場所でしょうか。
議 長	番外杉本まちづくり推進課長。
番外杉本ま ち推進課長	定住促進住宅につきましては、議会の方にも町の方にも陳情もいただいております。こういった自治会

番外杉本ま
ちづくり推
進課長

はですね、ひとつにはやはり集落対策という意味合いで、この建設を希望しておられるという判断をしております。どうしても限界集落と言われる集落が非常に増えておるといふ状況もあります。自治会においてもそういったものを解決していきたいと、その足がかりとしてこういった建築を希望される。先ほども言いましたように、全ての自治会に定住促進住宅、ご指摘にもありましたように、馴染むか、馴染まないかという点もございます。ひとつには移住者の方の希望というか、事を考えるにあたってやはりこれはなるべく定住促進住宅につきましては、中心部、商業のある部分に近い所が良いのかなという気持ちは持っておりますが、ただ先ほどご回答いたしましたように、移住を希望される方には非常に空き家を望まれる方が非常に多くございます。本当の意味で田舎暮らしがしたいと言われる方。ただ、現段階でそれにあうほどの空き家バンクの登録もございません。先ほどの一番最初の回答の最後のところでお答え致しましたけれども、そういった周辺という言い方が正しいかどうかちょっとあれですけども、地区につきましては空き家というものを活用した取り組みを来年度進めていきたいなど。これはですね、移住者も含めてUターン者も含めた形です、自治会と連携しながらお話をしながらそういった対策を進めていきたいというふうに思います。

議 長

再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員

今、言われた集落対策という観点は良く分かる訳ですが、それをどうこういう訳ではありません。その定住住宅をやろうが空き家対策である、その集落対策というのはそこへとにかく元気の良い若い方が来てくれて、皆さんで今から老老介護になるのが見えて、もうなっている地区もある訳ですが、そういう地区に若い力が入ってきてくれるという事は、それはその地区にとっては皆さんたいへん嬉しい事だろうと思います。それと私が思うのは、その定住促進住宅でも良いとは思いますが、要はこの弓市地区がどうしても皆さん見ての通り更地がだんだん増えてくるような状況にあるという事で、やはりこの弓市の中にも土地は町有地はありませんから、たいへん土地代のコストという土地を確保する出費というのは出てくるとは思うんですが、そういう事も少しは考えていかないと、確かに周辺もですけども、実際この弓市の中が可成り人を増やすような取り組みをしていかないと、だんだん厳しい状況になるのかなという気もします、この弓市の中の自治会でも子ども姿も何十年も見ないとか、そういう話も聞きますので、そういう事も一応考慮に入れていただいて、定住住宅の建設という事についてはバランスを見ていかないといけない事ではないかと。確かに周辺集落は大変です。それは私は本当に身にしみて分かるんですが、大変です。ですがその町の中は大丈夫、弓市の中は大丈夫なんかという、そうでもないような気がします。その辺の事も含めてこれから確かにこの定住促進住宅の施策というのは、お金も掛かるけど結果も良く出ている施策ではあるのは良く知っておりますので、そ

3番
高良議員 ういう事と先ほど言われたこれが1つと、先ほど言われた空き家の活用ですが、田舎の空き家というのは管理がしてないと周りは草某々になりますし、蔓は巻き付いてくるし、そういう事が直ぐ思い浮かぶ訳ですが、そういう空き家の管理という面では、その町がそこまで空き家の管理をして借りてくれる人に結び付けていくのかどうかというのは、どの辺まで考えておられますか。

議 長 番外杉本まちづくり推進課長。

番外杉本ま
ちづくり推
進課長 空き家についてそういった事も含めて自治会とよく話をしなければならぬというふうに思っております。実は三原の地に空き家を改修されて入られて、非常にマスコミにも取り上げられておる方があります。家を見ますと非常に良い形で改修をされて、素敵なお家になっております。ご本人さんも田舎暮らしがしたいという事で、その地を望まれて確かに入られる前は非常に何て言うんですか、直さなければいけないところがたくさん有ったというふうな認識をしております。ひとつの空き家の管理については、まちづくり推進課としては是非、自治会の中での管理という事で考えていただいて、お金を掛ける部分としては一般的な住まいづくり推進の事業でやっておりますような改修ではなくて、少しもう少し大きな経費をかけてでも移住者に耐えうる空き家というものを整備して、そういったものが空き家バンクに登録されるその移住の対策につながればという事で考えておりますので、管理も含めてここは自治会とよく話を進めなければならないというふうに考えております。

議 長 再質問ありますか。3番高良議員。

3番
高良議員 分かりました。定住促進住宅の建設という整備という事でお伺いして、要はこの最終的な目標は人口の増加、或いは幼年人口の増加というところに事業ですので、定住促進住宅であろうが空き家を活用したUIターンであろうが、その人口問題にこれは直接つながる問題ですので、各々先ほど言いましたその町の事もあるし、周辺集落の事もあります、その辺の事も絡めて早く進めて欲しいと。ただし、こういう建てる土地を決めないで、予算化するという事は私は、それはちょっと考え方が違うのではないかとこの事だけ申し上げて、この質問を終わります。

議 長 答弁はよろしいですか。
（「答弁は要りません」の声あり）

々 はい、以上で「定住促進住宅の建設について問う」の質問を終わります。

議 長 次に、3項目めの「三島の歩道安全対策工事について問う」に対する、答弁をお願いします。番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 高良議員の「三島の歩道の安全対策工事について問う」にお答えいたします。本箇所につきましては、県道であるため、島根県に確認ができた内容につきましてはご回答いたします。現在、主要地方道川本波多線、川本大橋川下側の山側の歩道につきましては、長期間通行禁止になっており町民の皆様、特に登下校に使用する小中学生に不便をきたしておりますこと、お詫び申し上げます。本箇所の通行止めの原因といたしましては、モルタル吹き付け箇所の法面が、平成30年の4月に発生した島根県西部を震源とする地震により被災したためでございます。現在、島根県において測量設計については、完了しており、本年秋頃には工事完成予定との報告を受けております。

いずれにしましても、長期間通行禁止となっておりますので、工事完成が少しでも早まるように、町として要望していきたいと考えております。以上でございます。

議 長 ただいまの答弁に対しまして、質問がありますか。3番高良議員。

3番高良議員 概要は今の説明で分かった訳ですが、じゃあそのこういう状況でいついつまでにこうなりますよというのを、これは皆さんに周知してありますか。

議 長 番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 昨年の10月ですか、島根県それから警察、小中学校、あとは町と、あとは自治会の方が居られたかどうかはちょっと記憶にないんですが、登校路の安全の会議をしておりまして、その時にご報告はさせていただいております。以上でございます。

議 長 3番高良議員。

3番高良議員 そこを利用している生徒の児童の保護者には、どうでしょう。

議 長 番外宇山地域整備課長。

番外宇山地域整備課長 学校の方から連絡がいつているものだと考えております。

議 長 3番高良議員。

3番高良議員 私が知る限り学校の方から連絡はありません。こういう状況なんですよ、実際のところが。そこを使っている、通告書にも書いておりますが、自転車

3番
高良議員

に乗った子どもと小学生の小さい子が擦れ違うような、今、片方を止めている
るので、状況になっていると。我々が車で通っても大丈夫かなと思しながら
中学校3年生ぐらいの子になると、結構早いスピードで走っている子もいる
し、並んで走っている子もいるし、いろいろ目に付くわけですが、そういう
のを一番心配するのはやっぱり保護者なんですよね。その学校関係者が知っ
ていても学校の方が保護者まで連絡がきちんとして、こうですよという文書
でも出してくれれば良いんですが、それは私はちょっと無いような気がしま
す。本当はいちばん知りたいのは、その保護者の方なんですよね。学校でも
それは地区住民の皆さんも不便をされているから知りたいでしょう。その辺
の事は考えてどこが一番、どこが一番知らせておかなきゃいけないのかとい
う事は、ちょっとよく考えてそういう今からこういう事がこれから他にもあ
るかも知れませんが、対応して欲しいと私は思います。それでですね、ち
ょっとこれは工期が長くなる場合は、一番の問題は横断歩道が橋を渡った所
にあるんですけども、それが向こう側の歩道が通行止めになっているので、
使えないというのがそもそもなんで、その工事が長くなる時にはその使えな
い横断歩道の代わりに、近くに横断可能な横断歩道はつけれないのか、どう
かという事をちょっとお聞きしたいと思います。

議 長

番外瀬上教育課長。

番外瀬上教
育課長

実際に今、横断歩道が使えなくて三島の町営住宅までグルッと回ってです
ね、反対側に回って登校しているのが現実でございます。そういったところ
で県とも相談を致しまして横断歩道は付けれないかという事で、県とか警察
とかも協議をしております。そういった中で今後になりますけども要望書
を出して公安委員会さんのところで諮っていただくようなところの段階に、今
後いくようなところに準備をしたいというふうに思っております。

議 長

3番高良議員。

3番
高良議員

公安委員会にそれを出して、認可がおりて横断歩道を付けるまでに、どの
くらいの期間が掛かるか相談されました。

議 長

番外瀬上教育課長。

番外瀬上教
育課長

ちょっとその期間までは、すみません、私も分かっておりません。

議 長

3番高良議員。

3番
高良議員

それが1ヶ月で出来るのか、2ヶ月で出来るのか、白線を引くまでに時間
が掛かってもっと掛かるのか分かりませんが、要は今の地域整備課長の説明

3番
高良議員 　　では6月には工事に掛かると。秋口には、でしたね。
（「秋口に終了」課長の声）
　　終了するんかね。
（「はい」の声あり）
　　終了するという事でしたので、それが始まりが何月になるのか、6月になるのか、7月になるのか、8月になるのか分かりませんが、2ヶ月も3ヶ月も掛かって作るんだったら、それは作らないのと同じであって、要はこういうふうに、工事が始まる前にどのぐらいの工期が掛かるかというのが、おおよそ分かる訳ですから、その時点で対応を先にそういう対応をするような取り組みを今から気をつけてしていただきたいと思うんですが、それは出来ると思いますよ、出来ますよね。

議　長 　　番外宇山地域整備課長。

番外宇山地
域整備課長 　　こちらの歩道の方も、当初ずっと三島の住宅の前まで行かないといけないので、手前に歩道を付けて欲しいというのは、原因があった時点から公安委員会にお願いをしたところですね、公安委員会からはダメだという事で返事をもらっておりましたので、安全点検をしている会議の中ではもうダメだという話をしておりましたが、ここ最近になってですね、もしかしたら出来るかも知れないという話が急に出て参りまして、それでちょっと急遽、動かないといけないという話になった次第でございまして、本来ですとそれが早く分かっていたら早めに動けたんじゃないかなというふうに思っております。

議　長 　　3番高良議員。

3番
高良議員 　　今、公安委員会の委員長は川本の方じゃないですかね。ちょっと確認ですが。

議　長 　　番外森川総務財政課長。

番外森川総
務財政課長 　　はい、議員仰るとおり、川本の方でございます。

議　長 　　3番高良議員。

3番
高良議員 　　これは役場の皆さん怠慢ですよ。それだけは言いますよ。そういう状況にあって、なぜ情報が得（ら）れないのか。おかしいでしょ。ですから、なるべくその何をどの皆さんの力を借りても良いですが、要は事故があった時、事故があったというか、ケガをしたり事故に遭うのは歩道橋の時にも言いましたけども、いくら県道であれ、国道であれ、そこを歩いて今いちばん使っているのは、この地元の川本町民ですから、被害を受けるのは、この川本町

3番
高良議員

民がいちばん被害を受ける率が高い訳ですよ。そういう事を考えて、いくら県の工事でなかなか口は出しにくいかも知れませんが、やっぱり地元ですからそういう事を遠慮せずに被害は我々が受けるんだからという事で、そういうのを未然に防ぐような手立てを少しでもやって行って欲しいなと私は考えますので、これからはそういう視点をもって取り組んで欲しいと思います。これで、私の質問を終わります。

議 長

答弁はよろしいですね。
（「はい」の声あり）

々

はい。これをもちまして、「三島の歩道の安全対策工事について問う」の質問を終わります。

々

これをもちまして、高良議員の一般質問を終了致します。

々

ここで、休憩を致します。2時15分まで休憩を致します。

（午後2時05分）